

# 熊本県鉱工業動向(平成26年8月分)

## 概況

	前月比の動き	参 考	
		九州 (速報)	全国 (速報)
生産	上昇	上昇	低下
出荷	低下	低下	低下
在庫	上昇	上昇	上昇

## 業種別の主な動き

	主な上昇・低下業種(及び主な品目)	参 考	
		九州 (速報)	全国 (速報)
生産	上昇 電子部品・デバイス工業(集積回路) 化学工業(医薬品)	はん用・生産用・業務用機械工業 (一般用蒸気タービン、半導体製造装置等)	化学工業(除. 医薬品) (フェノール、合成アセトン、ポリプロピレン等)
	低下 輸送機械工業(※) 金属製品工業(建築用金属製品)	電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(マイコン、ロジック)等)	はん用・生産用・業務用機械工業 (コンベヤ、数値制御ロボット、水管ボイラ等)
出荷	上昇 電子部品・デバイス工業(集積回路) 化学工業(医薬品)	化学・石油石炭製品工業 (パラキシレン、ナフサ等)	電子部品・デバイス工業 (モス型半導体集積回路(メモリ、CCD)等)
	低下 輸送機械工業(※) その他の工業(※)	はん用・生産用・業務用機械工業 (水管ボイラ、塔槽機器等)	はん用・生産用・業務用機械工業 (コンベヤ、一般用蒸気タービン等)
在庫	上昇 食料品・たばこ工業(※) パルプ・紙・紙加工品工業(※)	窯業・土石製品工業 (遠心力鉄筋コンクリート製品、セメント等)	鉄鋼業 (フェロニッケル、特殊鋼熱間圧延鋼材等)
	低下 金属製品工業(建築用金属製品) 化学工業(※)	電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(ロジック)、混成集積回路等)	輸送機械工業 (普通乗用車、普通、小型トラック等)

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

## 総括

### [熊本県]

生産指数は 111.8 で、前月比 1.4%となり、3ヶ月連続の上昇であった。  
16業種中 9業種が上昇、7業種が低下であった。  
出荷指数は 105.0 で、前月比 ▲1.2%となり、3ヶ月ぶりの低下であった。  
16業種中 7業種が上昇、9業種が低下であった。  
在庫指数は 85.6 で、前月比 2.5%となり、5ヶ月ぶりの上昇であった。  
15業種中 9業種が上昇、6業種が低下であった。

### [九州経済産業局](H26.10.14速報より)

平成26年8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は 98.4となり、  
前月比が+2.9%と3ヶ月ぶりに上昇し、前年同月比は▲0.4%と2ヶ月連続の低下となった。

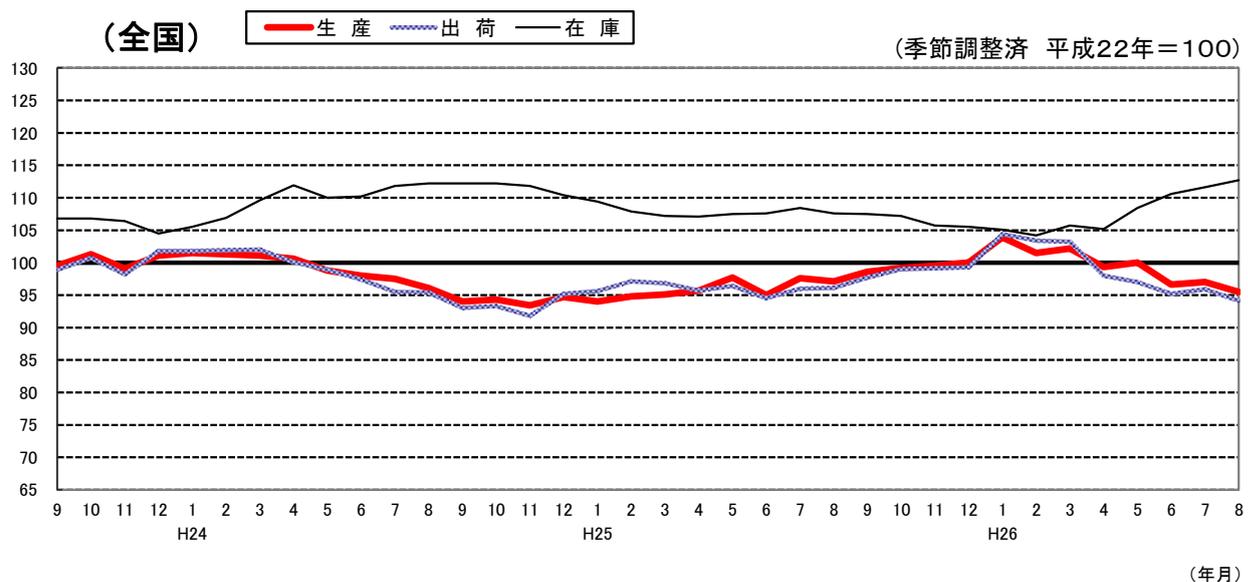
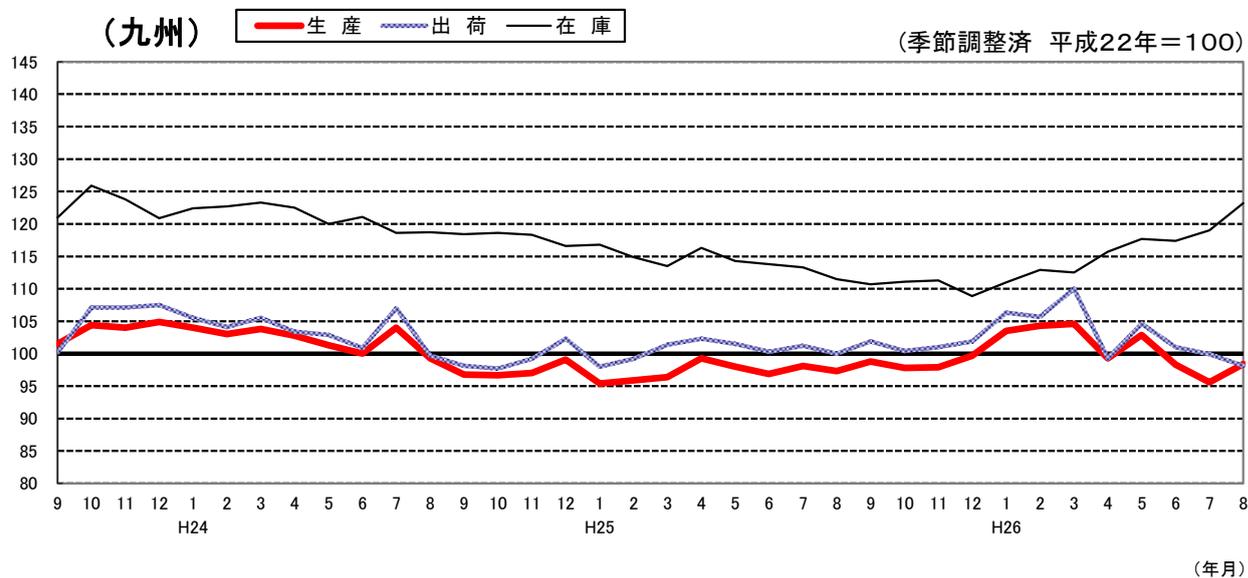
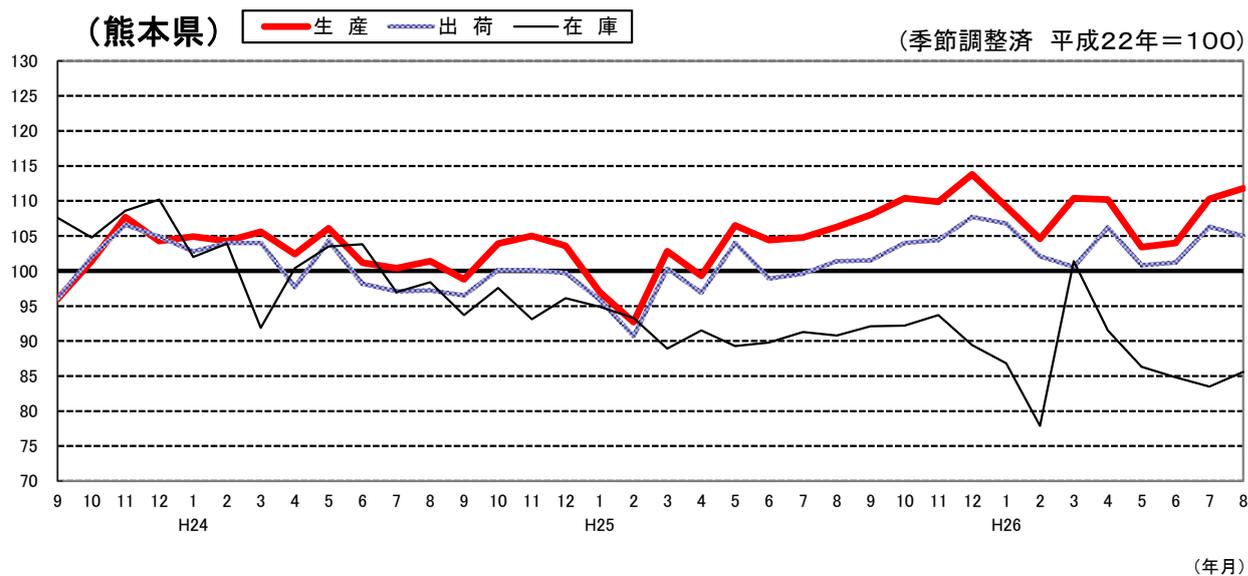
### [経済産業省](H26.9.30速報より)

今月は、生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇であった。  
製造工業生産予測調査によると、9月は上昇、10月は低下を予測している。  
総じてみれば、生産は弱含みで推移している。



統計調査課 商工班  
泉・田中(内線3610)  
096-333-2177(直通)

# 熊本県・九州・全国の鉱工業指数の推移



※ 最終月は速報値です。

1. 概況

－ 生産は3ヶ月連続の上昇 －

平成26年8月の鉱工業指数[速報値]

(平成22年=100)

		季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前年同月比(%)
熊本県	生産	111.8	1.4	102.7	2.8
	出荷	105.0	▲ 1.2	95.7	1.4
	在庫	85.6	2.5	83.6	▲ 5.7
九州	生産	98.4	2.9	94.1	▲ 0.4
	出荷	98.1	▲ 1.8	93.7	▲ 3.3
	在庫	123.2	3.5	124.3	10.5
全国	生産	95.5	▲ 1.5	89.4	▲ 2.9
	出荷	94.1	▲ 1.9	88.0	▲ 3.5
	在庫	112.7	1.0	114.6	4.7

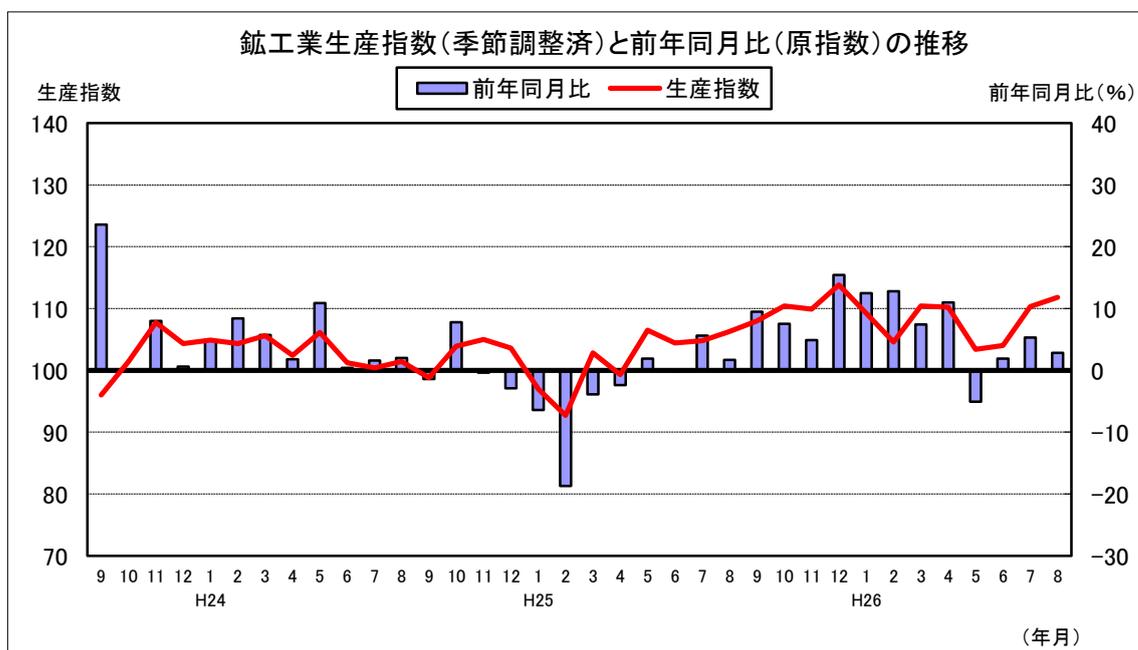
※「前月比」、「前年同月比」は上昇率を百分比(%)で表しています。

※生産・出荷の季節調整法はX-12-ARIMA(季節、曜日・祝祭日調整)、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトによります。

**【生産】** 生産指数は 111.8 で、前月比 1.4%となり、3ヶ月連続の上昇であった。16業種中、輸送機械工業や金属製品工業などの7業種が低下したが、電子部品・デバイス工業や化学工業などの9業種が上昇した。

**【出荷】** 出荷指数は 105.0 で、前月比 ▲1.2%となり、3ヶ月ぶりの低下であった。16業種中、電子部品・デバイス工業や化学工業などの7業種が上昇したが、輸送機械工業やその他の工業などの9業種が低下した。

**【在庫】** 在庫指数は 85.6 で、前月比 2.5%となり、5ヶ月ぶりの上昇であった。15業種中、金属製品工業や化学工業などの6業種が低下したが、食料品・たばこ工業やパルプ・紙・紙加工品工業などの9業種が上昇した。



## 2. 業種別動向

### 【 生産 】

主な上昇・低下業種		ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	電子部品・デバイス工業	1823.9	7.8	37.2	集積回路
	化学工業	868.7	9.6	16.4	医薬品
	食料品・たばこ工業	1417.1	2.2	▲ 2.1	飲料
低 下	輸送機械工業	1293.4	▲ 20.8	▲ 20.8	※
	金属製品工業	426.2	▲ 10.8	▲ 9.0	建築用金属製品
	電気機械工業	804.7	▲ 7.7	▲ 31.0	開閉制御装置・機器

### 【 出荷 】

主な上昇・低下業種		ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	電子部品・デバイス工業	1737.9	7.7	38.4	集積回路
	化学工業	846.8	16.6	28.1	医薬品
	非鉄金属工業	180.1	10.1	4.0	※
低 下	輸送機械工業	1847.4	▲ 20.6	▲ 24.3	※
	その他の工業	101.7	▲ 55.1	25.5	※
	金属製品工業	415.3	▲ 12.1	▲ 9.4	建築用金属製品

### 【 在庫 】

主な上昇・低下業種		ウェイト	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇・低下に寄与した品目
上 昇	食料品・たばこ工業	1733.1	34.5	3.1	※
	パルプ・紙・紙加工品工業	713.3	4.8	▲ 4.7	※
	窯業・土石製品工業	693.7	5.0	▲ 11.6	コンクリート・セメント製品
低 下	金属製品工業	672.4	▲ 17.8	22.0	建築用金属製品
	化学工業	1224.1	▲ 7.2	▲ 1.8	※
	※	※	※	※	※

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

### 3. 特殊分類別動向（財別の動き）

財 別	項 目	季節調整済指数	原 指 数		
			前月比(%)		前年同月比(%)
最終需要財	生 産	93.3	2.6	83.6	▲ 10.2
	出 荷	92.5	▲ 1.6	84.0	▲ 11.0
	在 庫	81.5	▲ 3.6	79.6	▲ 14.9
生 産 財	生 産	131.7	0.9	125.1	15.9
	出 荷	118.0	▲ 1.3	108.6	15.0
	在 庫	89.8	18.0	88.0	5.5

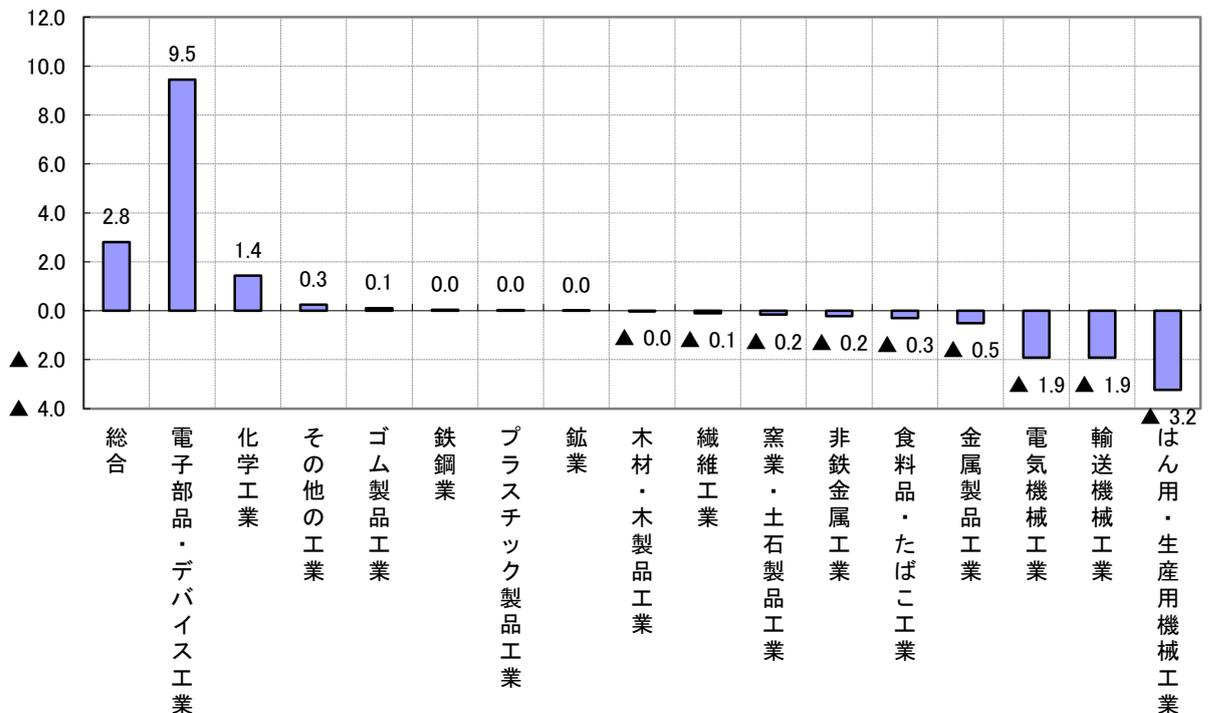
### 4. 特定品目の動向（集積回路の動き）

類 別	項 目	季節調整済指数	原 指 数		
			前月比(%)		前年同月比(%)
金額指数	生 産	237.3	6.5	236.7	49.1
	出 荷	200.7	7.6	202.5	51.0
	在 庫	0.3	▲ 76.9	0.3	200.0

類 別	項 目	季節調整済指数	原 指 数		
			前月比(%)		前年同月比(%)
数量指数	生 産	405.7	4.2	410.7	51.3
	出 荷	342.5	6.1	356.6	50.1
	在 庫	61.5	▲ 12.8	67.4	▲ 44.6

※ 総合指数や業種別指数には金額指数を採用しています。

### 5. 業種別寄与度（生産前年同月比）



※ 寄与度は、各業種の変化が、総合指数をどれだけ変化させたかを表します。ウェイトが反映されますので、業種によっては上昇幅が大きくても、ウェイトが非常に小さければ全体に対する貢献度は低くなる場合があります。また、ほとんどの業種が低下してもウェイトの大きい業種が上昇すれば、全体ではプラスになることがあります。